

# 2020年度事業計画を策定

## 基本方針

### 知恵産業で花開く、個性豊かな世界水準の 京都ブランド“VIVID KYOTO”を目指して

2020年度、京都商工会議所は京都企業の強みや京都人の多様な個性を育て、京都産業の“色鮮やかな魅力”として発信することで、世界水準の「京都ブランド」を構築することを目指します。京都の価値を高める「個性」が、いきいきと発揮される様子を「VIVID KYOTO (ヴィヴィッド キョウト)」という言葉で表現しました。

人口減少や深刻化する人手不足問題、経済のグローバル化、デジタル化の進展など、社会やビジネスを取り巻く環境が大きく変化の中で、京都の未来を担う産業人材の育成をはじめ、未来を担う「人」や「産業」、そして「知恵」を数多く生み出すことを見据え、次の3つの重点分野を掲げて事業計画を推進します。

重点分野 1

世界へ向けた  
京都ブランドの  
創造と発信

東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、2022年の京都への文化庁移転、2025年の大阪・関西万博など、世界的なイベントを見据えて、京都ブランドを世界に発信するための取り組みを推進します。

重点分野 2

京商知恵基金を  
活用した  
若手起業家や  
スタートアップ  
への支援

本所を起点にオール京都の取り組みへと拡大している「知恵産業」を、次世代へつなげるための「京商知恵基金」を活用し、地域経済の未来を担う起業家や萌芽のビジネス、地域発ベンチャー、スタートアップ等を集中的に支援する取り組みを推進します。

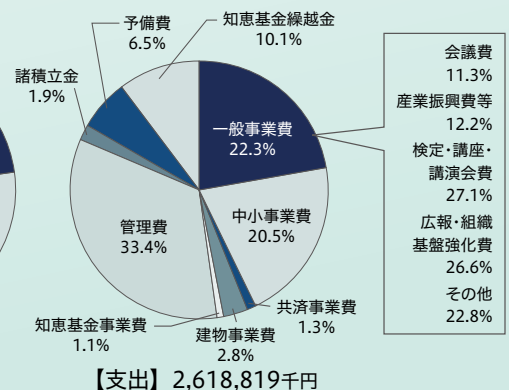
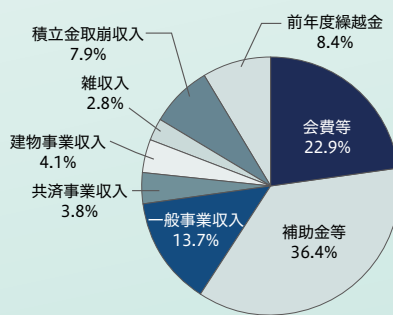
重点分野 3

中小企業の  
「新たな成長」へ  
向けた  
支援の強化

喫緊の課題である新型コロナウイルス感染拡大による影響や深刻化する後継者不足、人手不足などの経営課題に対して、京都経済センターを基盤とする支援機関や企業ネットワークとの連携を通じて、中小企業の迅速・的確な対応を全力で支援するとともに、新たな知恵ビジネスの成長モデルの発掘・発信に取り組みます。

## 京都商工会議所 2020年度予算

| <経常会計>       |           | (単位：千円) |
|--------------|-----------|---------|
| 会計名          | 予算額       |         |
| 一般会計         | 1,421,985 |         |
| 中小企業支援事業特別会計 | 977,279   |         |
| 共済事業特別会計     | 150,499   |         |
| 建物運営管理費特別会計  | 140,894   |         |
| 京商知恵基金特別会計   | 302,000   |         |
| 合計           | 2,992,657 |         |
| 会計間の繰入額      | 373,838   |         |
| 純計           | 2,618,819 |         |



## 知恵-1グランプリ の開催

知恵ビジネスや既存の枠を超えたビジネスを展開する企業の成長の後押しに向けて、「知恵ビジネスプランコンテスト」をリニューアルし、「イノベーション部門」「コラボレーション部門」等を見直し・拡充することで、新たな知恵ビジネスの成長モデルを発掘・発信します。



## 京都の伝統産業 技の祭典(仮称)

10月末から京都で開催される伝統的工芸品月間国民会議全国大会(KOUGEI EXPO IN KYOTO)を推進し、京都の伝統的工芸品の実演や商談会などを通じて、京都ブランドの重要な要素である伝統産業の魅力を広く発信し、その振興を図ります。



## 京都いちおしポップ アップショップ(仮称)の実施

市内百貨店や専門店、バイヤー等との連携により、本所が支援する商品の期間限定展示販売会(ポップアップショップ)を実施することで、BtoCの販路開拓のチャンネル構築やトライアル販売による消費者の反応を見る機会の創出を通じて、事業者の新たな販路開拓を支援します。



## 京都企業の海外市場開拓を サポート

京都のものづくり技術やコンテンツ、サービス等を広く海外に発信する「京都ブランド海外展開助成金」や海外市場開拓支援のための「逆商談会」など、これまで取り組んできた施策に加え、JETRO京都等と連携した新たな海外販路開拓支援事業について調査・検討を進めます。



## 事業継続計画の 策定支援

地震や風水害、感染症などの有事が発生した際、各企業では、予め構築した事業継続に関する計画に基づいて適切に対応することにより、早期に事業再開にこぎつけることができます。本所では、京都市と連携して、中小企業の事業継続計画(BCP)に関するセミナー等を通じて、事業継続力強化計画の策定を支援します。

## 新型コロナウイルス感染拡大等 により影響を受けた中小企業等 に対する経営支援の充実・強化

本所では、市内の4つのビジネスサポートデスクに「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」を設置し、新型コロナウイルス対策マル経融資や各種補助金などの施策を活用し、中小企業の経営安定や事業継続の支援を強化しています。

また、本所ホームページやメールマガジン等を通じて、タイムリーに情報を発信してまいります。



特設サイト

中小企業の  
「新たな成長」へ向けた  
支援の強化

## 京商知恵基金を活用した若手起業家やスタートアップへの支援

「京商知恵基金」を活用し、地域経済を担う起業家や萌芽的ビジネス、地域発ベンチャー、スタートアップ等を集中的に支援するために、アイデアの創出から実現（製品化・サービス化）までの一貫した支援を行うオリジナルなプログラムとして、「京都・知恵アントレプレナー支援プログラム（K-CAP）事業」を展開します。



# K-CAP 京都・知恵アントレプレナー支援プログラム

Kyoto Chie-entrepreneur Assistance Program

### 1 「京都起業家アワード」の開催

起業後5年以内で京都を拠点にビジネスを展開する若手起業家（35歳以下）を対象とした表彰を行うことで、次世代を担う若手起業家の発掘につなげます。

### 2 「京商スタートアップ・ショーケース」の開催

ベンチャーやスタートアップ等の成長企業とビジネスパートナーとの出会いやマッチングにむけたピッチイベントを開催します。

### 3 「Lunch&Learn Meeting」事業の実施

学生や若手起業家が先輩経営者を囲む少人数ゼミ形式の勉強会を実施することで、ビジネスプランや経営スキルを磨く場を創出します。

### 4 アクセラレーションプログラムなどの検討

起業家アワード等で発掘した起業家のさらなる成長を促進するプログラムを検討します。

### 5 アントレプレナーシップへの関心を高める講演会の開催や各種情報の発信

## 人事最前線 ネットワークの創設

深刻化する人手不足問題や新卒採用を取り巻く状況の変化への対応を支援するために、**新卒採用意欲の高い企業同士のネットワークを創設**します。合同就職面接会や模擬面接事業（写真）等と組み合わせることや大学との交流を進めることで「採用力」を向上させ、会員企業の人材確保支援の強化・充実につなげます。



## ダイバーシティ 経営の促進

少子高齢化、人手不足が進む中、女性やシニア人材、障害者、外国人など、**多様な価値観を持つ人材が活躍する企業づくり**に向けて、本所では新設したダイバーシティ特別委員会を中心に、セミナー等を通じて情報発信に取り組みます。

新型コロナウイルスの感染拡大の状況等によって、計画を変更する場合があります。

HPで事業計画の詳細をご覧ください。  
<https://www.kyo.or.jp/kyoto/kyoshoh/plan.html>

